

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	共生社会実現をめざす地域社会及び専門家の内発的活動を強化するための学術的実践
研究テーマ名	ケアと支え合いの文化を地域コミュニティの内部から育てる臨床哲学の試み
研究代表者	浜渦 辰二
所属機関・部局・職	大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究成果の総合評点：	B
研究成果に係る所見	<p>哲学探究を通じて、他分野の研究者ならびに地域の実務者とともに、①地域にネットワークを築きつつ（ネットワーク型研究）、②哲学対話・哲学相談というプログラムを地域で実施する（実践プログラム型研究）という研究を相互補完的に展開することにより、ケアの分野への臨床哲学の斬新な寄与が期待された。しかしながら、①については従来の活動を活性化する一定の成果は見られるものの、シンポジウムの規模や効果を示す指標が提示されていないなど、客観的な評価が困難である。また、②についても2年間の研究成果が「萌芽的段階」と表現されており、成果が目に見える形で提示されておらず、①②の相互補完的展開の評価も困難である。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった